

## 14 地域とのつながりについて

### (1) 近所の方とのつきあいの程度

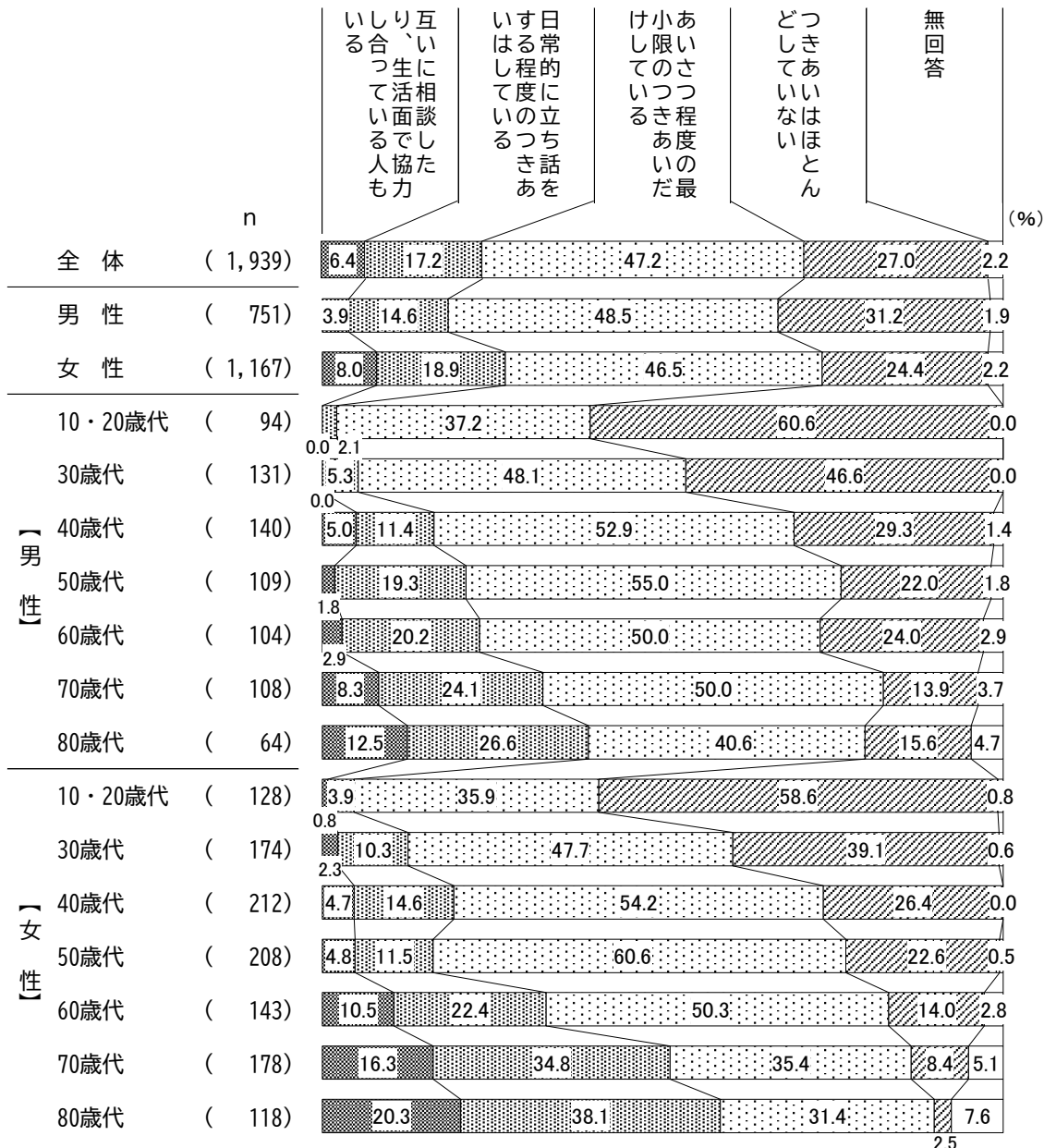
問46 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。（つきあいの程度）（○は1つ）

全体では、「あいさつ程度の最小限のつきあいだけしている」が47.2%で最も高くなっています。また、「つきあいはほとんどしていない」が27.0%となっています。

性別にみると、「つきあいはほとんどしていない」は、男性の方が女性よりも約7ポイント高くなっています。

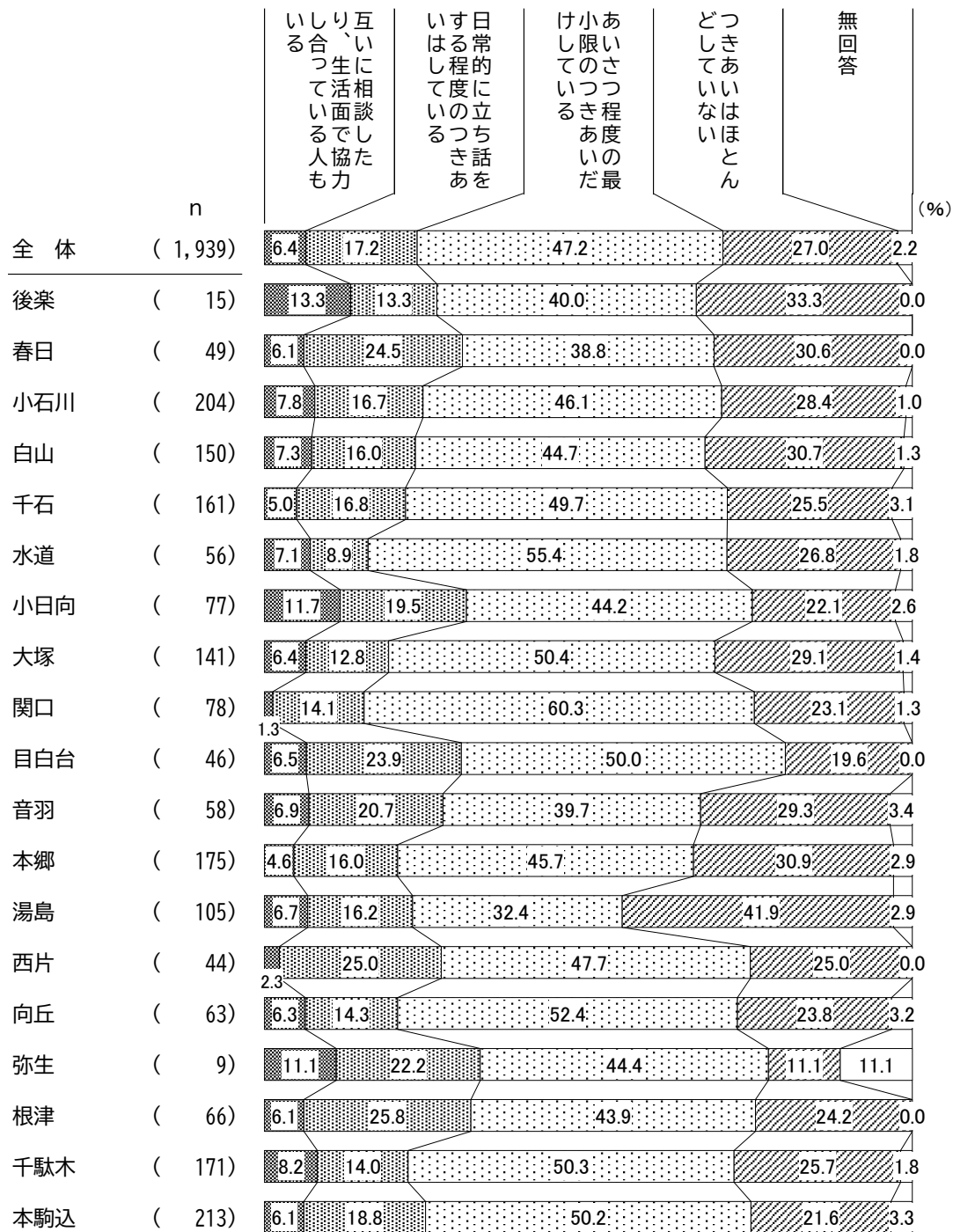
性・年齢別にみると、「互いに相談したり、生活面で協力し合っている人もいる」と「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」は、男女ともにおおむね年齢が上がるほど高くなっています。一方、「つきあいはほとんどしていない」は、男女ともにおおむね年齢が下がるほど高く、特に男女ともに10・20歳代で約6割となっています。

#### ◆全体／性別／性・年齢別



居住地域別にみると、おおむね「あいさつ程度の最小限のつきあいだけしている」が高く、特に、関口で6割、水道、大塚、目白台、向丘、千駄木、本駒込で5割台となっています。「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」は、春日、目白台、西片、根津で2割台半ばとなっています。また、「つきあいはほとんどしていない」は、湯島で4割を超えています。

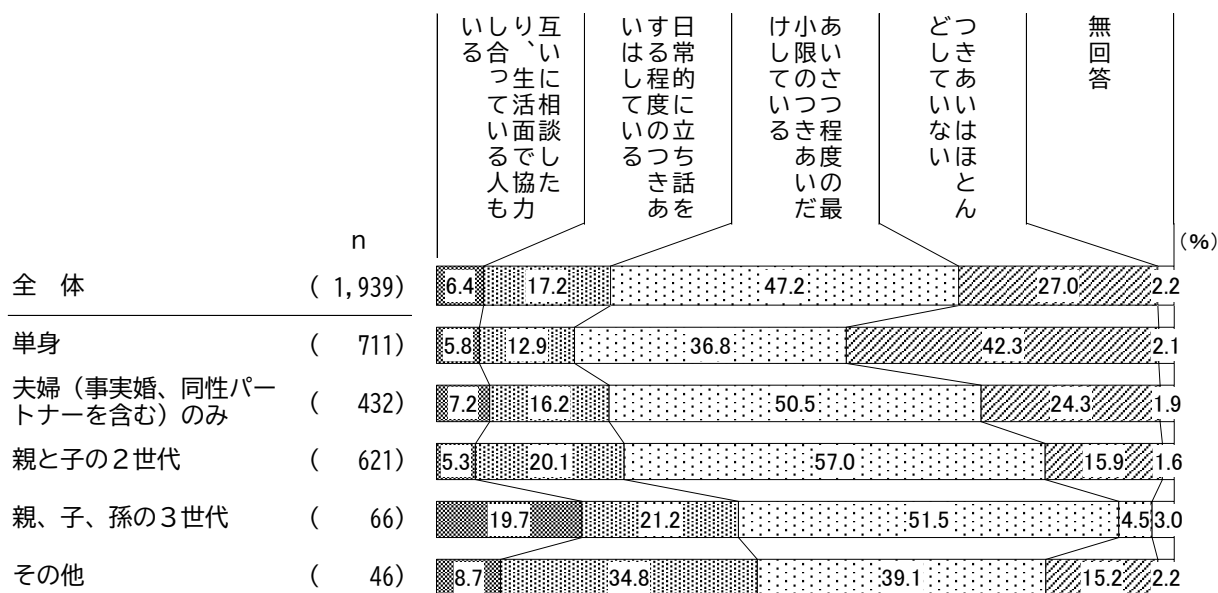
◆居住地域別



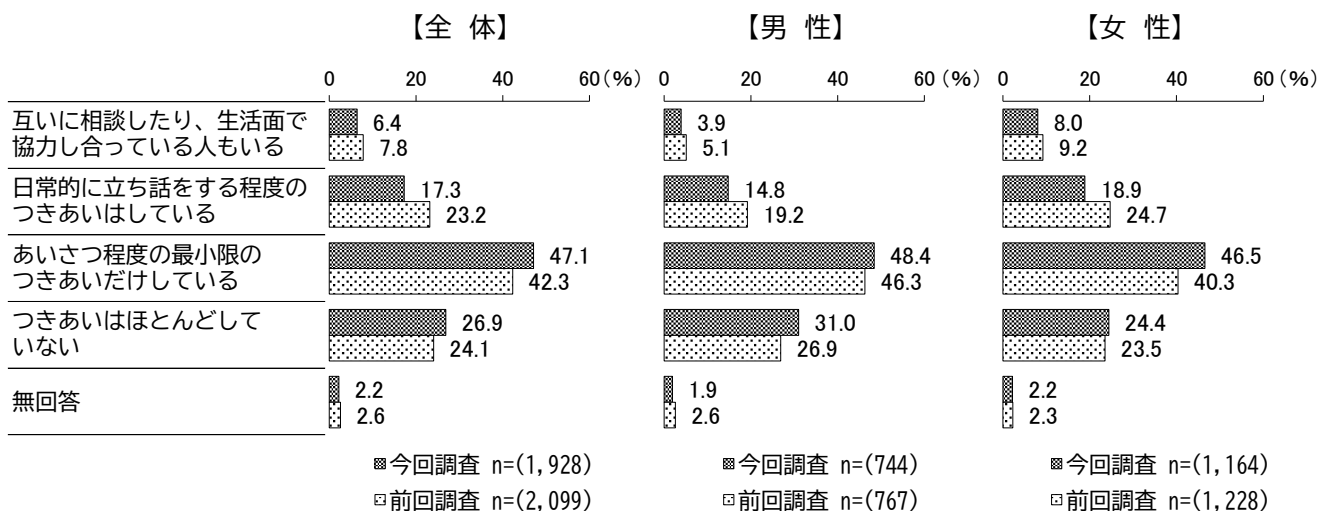
同居家族の構成別にみると、おおむね「あいさつ程度の最小限のつきあいだけしている」が高く、特に、親と子の2世代で約6割となっています。「互いに相談したり、生活面で協力し合っている人もいる」は、親、子、孫の3世代で約2割となっています。また、「つきあいはほとんどしていない」は、単身で4割を超えています。

前回調査との比較では、「あいさつ程度の最小限のつきあいだけしている」が女性で約6ポイント増加し、「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」が女性で約6ポイント減少しています。

#### ◆同居家族の構成別



#### ◆前回調査との比較



(2) つきあっている近所の方の人数

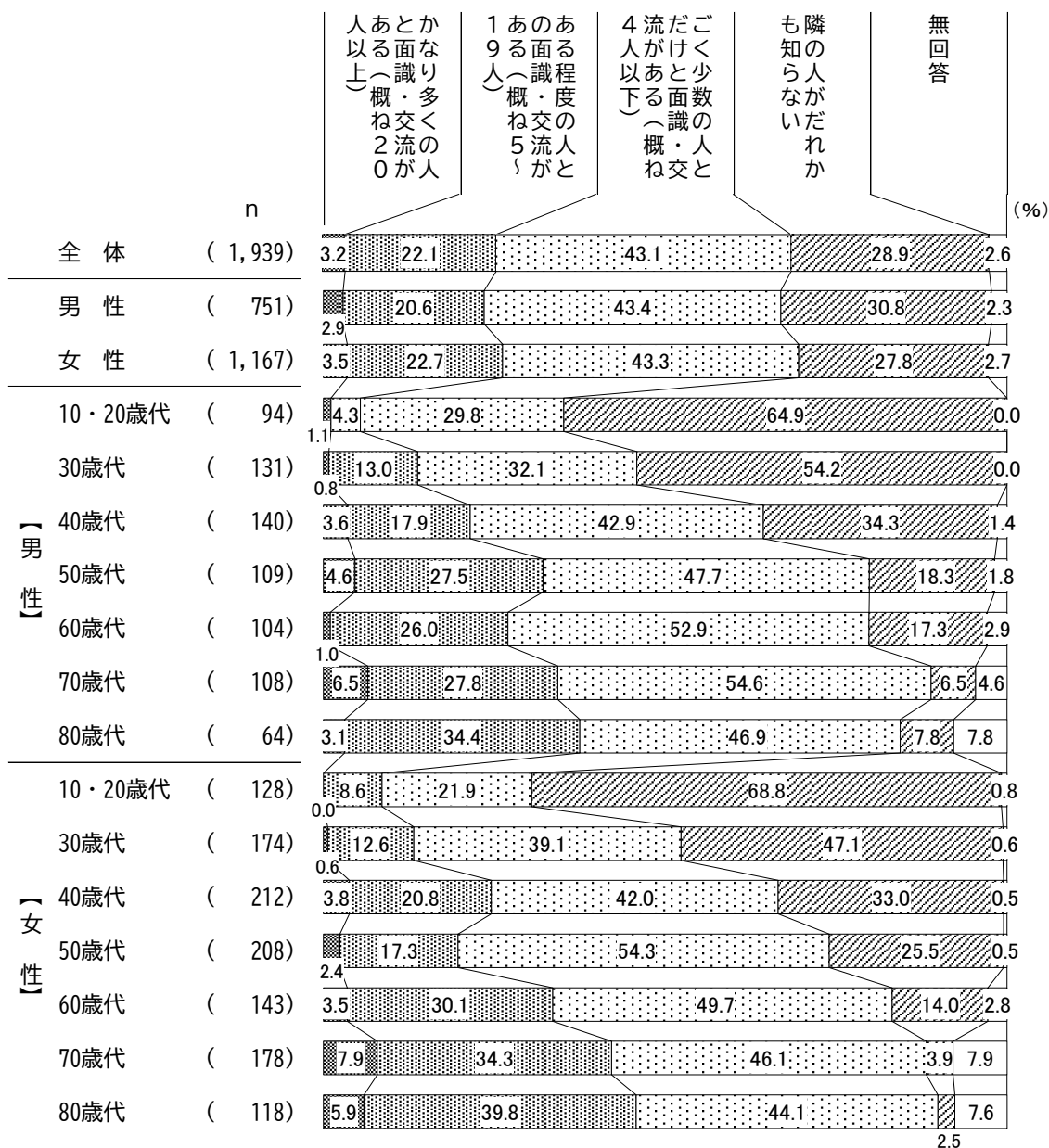
問47 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。(つきあっている人数) (○は1つ)

全体では、「ごく少数の人とだけと面識・交流がある(概ね4人以下)」が43.1%で最も高く、次いで「隣の人がだれかも知らない」が28.9%、「ある程度の人との面識・交流がある(概ね5~19人)」が22.1%となっています。

性別では、特に大きな違いはみられません。

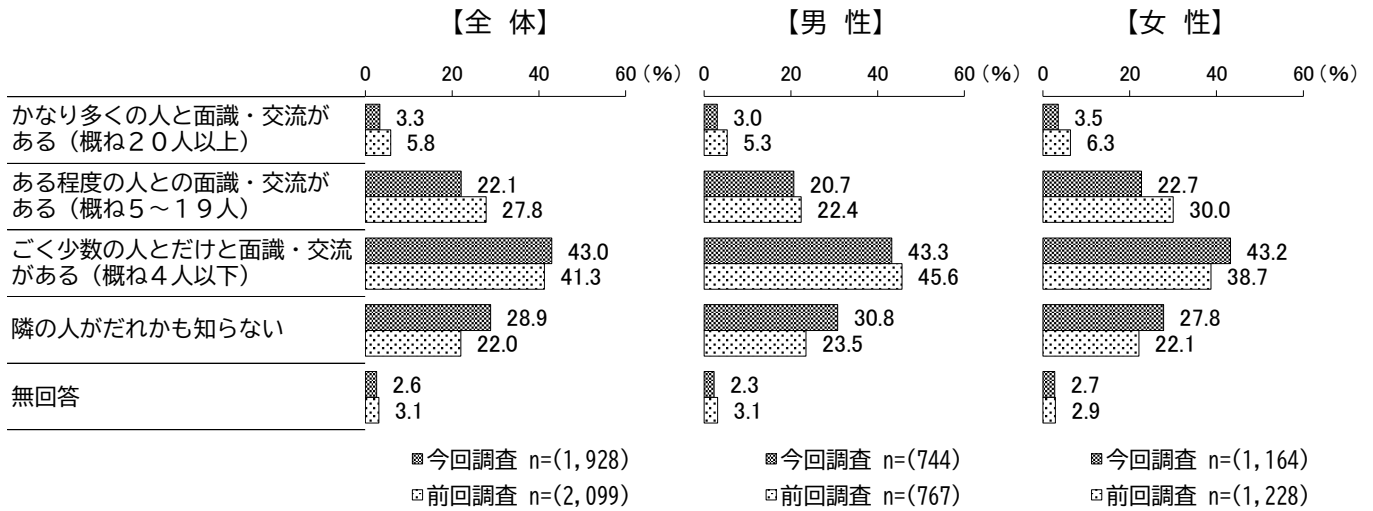
性・年齢別にみると、「ある程度の人との面識・交流がある(概ね5~19人)」は、男女ともにおおむね年齢が上がるほど高くなり、男性の80歳代、女性の60歳以上で3割台となっています。一方、「隣の人がだれかも知らない」は、男女ともにおおむね年齢が下がるほど高く、男女ともに10・20歳代で6割台となっています。

◆全体／性別／性・年齢別



前回調査との比較では、「ある程度の人との面識・交流がある(概ね5~19人)」が女性で約7ポイント減少しています。男女ともに「隣の人だれかも知らない」が増加しており、男性で約7ポイント、女性で約6ポイント増加しています。

◆前回調査との比較



### (3) 近所の手助け意識のイメージ

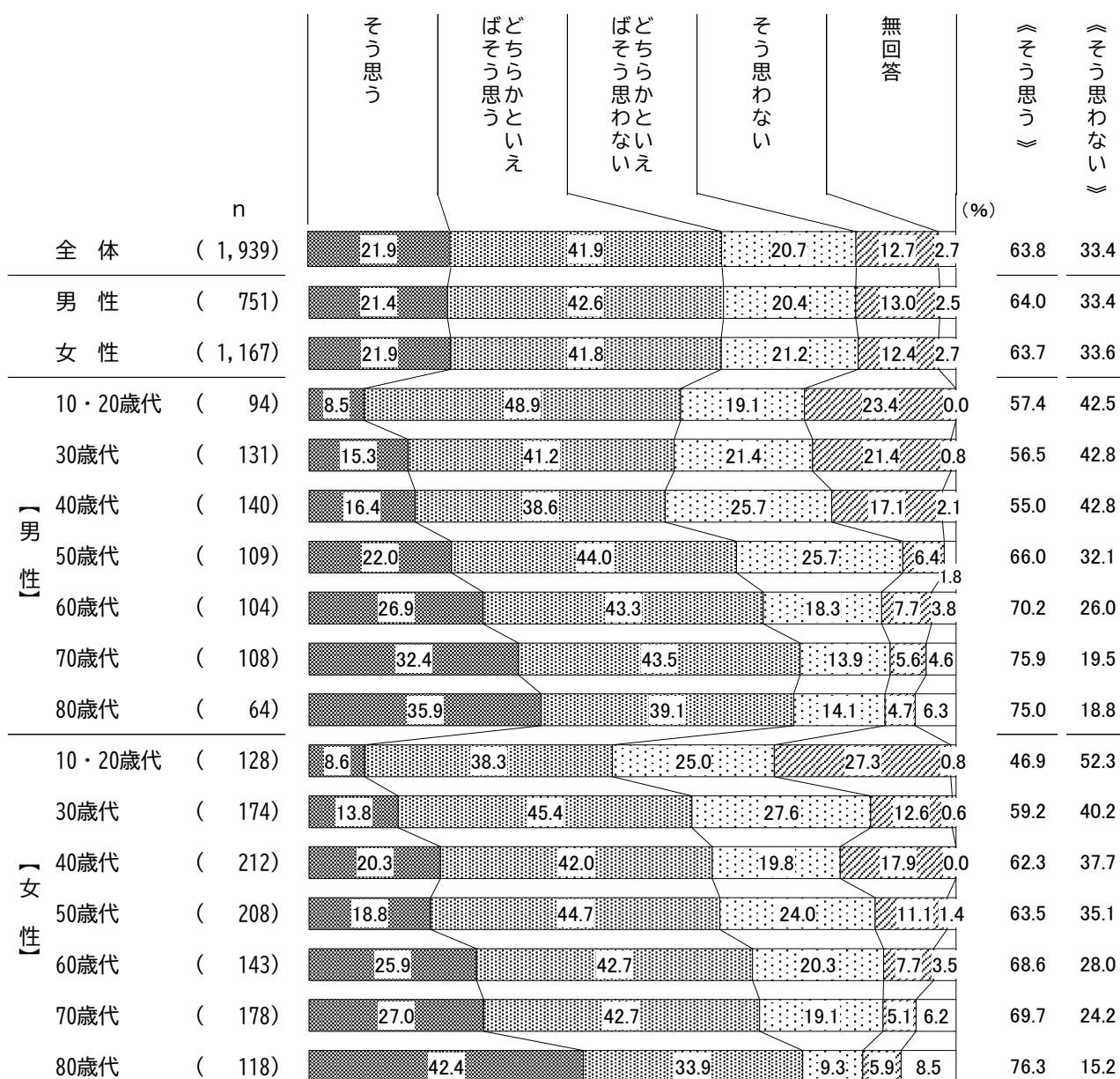
問48 近所の誰かが助けを必要としたときに、近所の人達は手をさしのべることをいとわな  
いと思いますか。(○は1つ)

全体では、「そう思う」(21.9%)と「どちらかといえばそう思う」(41.9%)を合わせて、《そう思う》は63.8%となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」(20.7%)と「そう思わない」(12.7%)を合わせた《そう思わない》は33.4%です。

性別では、特に大きな違いはみられません。

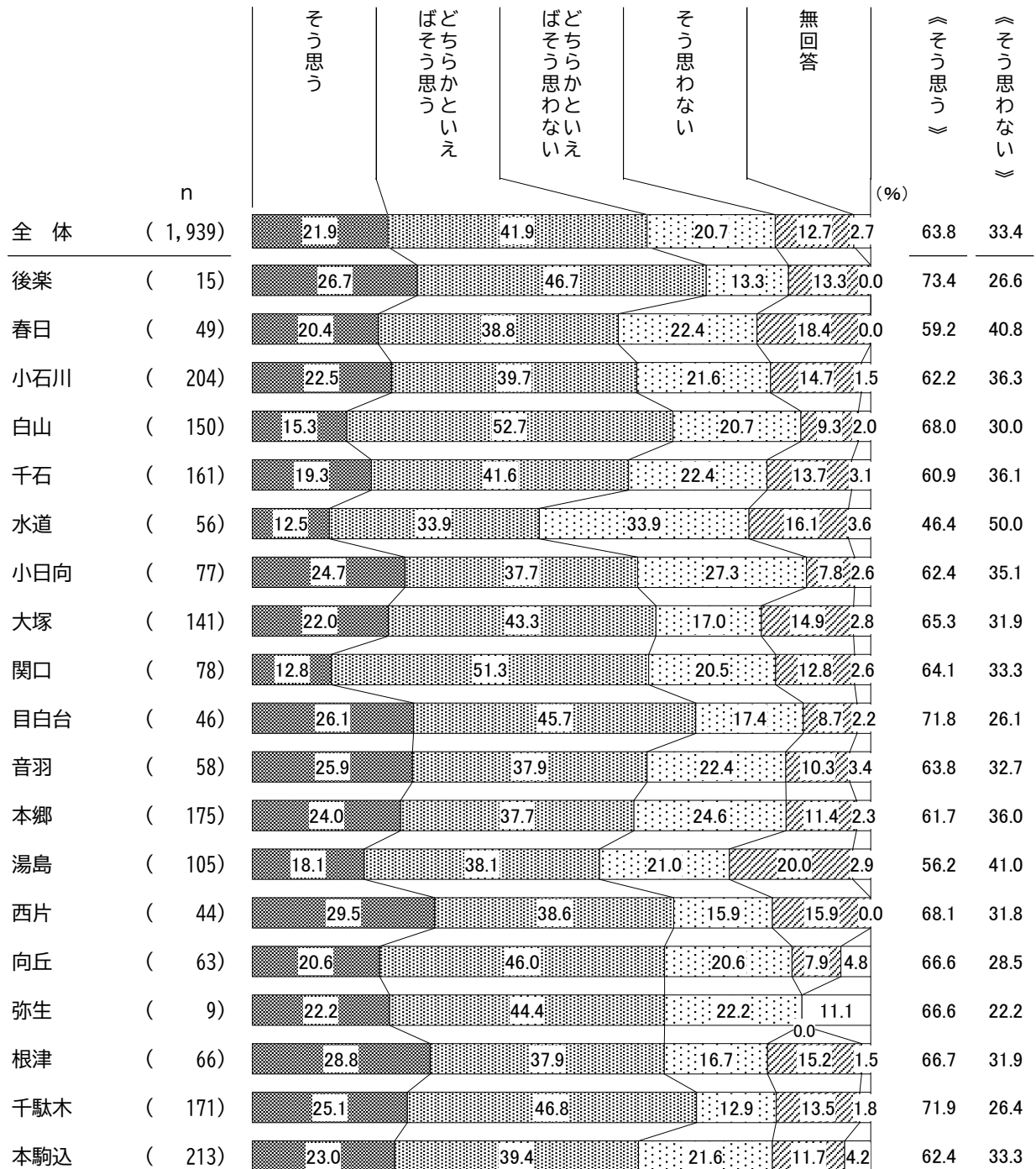
性・年齢別にみると、《そう思う》は、男女ともにおおむね年齢が上がるほど高くなり、男性の70歳以上、女性の80歳代で7割台半ばとなっています。一方、女性の10・20歳代は《そう思わない》が5割を超えており、《そう思う》より高くなっています。

#### ◆全体／性別／性・年齢別



居住地域別にみると、《そう思う》は、目白台、千駄木で7割を超えており、白山、西片で約7割となっています。

◆居住地域別



前回調査との比較では、男女ともに《そう思う》が減少しており、女性で約9ポイント、男性で8ポイント減少しています。

◆前回調査との比較

